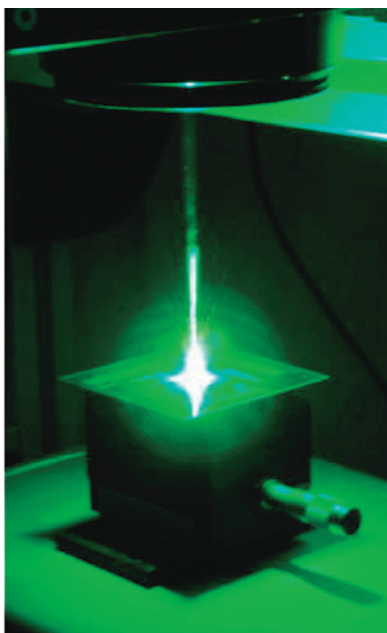


スペクトロニクス 株式会社

微細加工用レーザーで
先端産業を支える海外
発注可
期
納相
企
画力
自信有
コスト
相
談
オンリー
ワン技術
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量
産
対
応

微細加工用ピコ秒ファイバーレーザー「LYF-P0500」(左)、レーザーによる微細加工の様子(右)

業務
内容タッチパネルの品質を
決定づける微細加工技術

計測や通信等、幅広い用途に用いられるレーザー技術、加工分野の中でも最先端の技術を要する微細加工分野で存在感を発揮するのが、スペクトロニクスである。

タッチパネル・FPD・太陽電池・LED・リチウムイオン電池・CFRP等の製造に関わるメーカーや、そうした企業を支える製造装置メーカーに対して、発振器を中心としたレーザー・光学応用機器を提供している。

自社ブランド製品の開発・製造・販売だけでなく、同社の先進レーザー技術が必要とする企業からの受託開発や、開発コンサルティングにも力を注いでいる。

強み

顧客ニーズに応える
カスタマイズ技術

研究・実験用途とは対照的に、過酷な環境下で日々の生産活動を支える産業用途がスペクトロニクス製品の主戦場であり、競合相手は主に欧米メーカーである。

レーザーダイオードを光源とする分野において、媒質に結晶を用いるDPSレーザー方式、ファイバーを用いるファイバーレーザー方式と

ざー方式という、それぞれ異なる特長を持つ双方の技術・製品を



ハイパワーグリーンレーザー「LVE-G1000」

有することに加え、その高度なレンズ設計技術故に、個々の顧客が求める完璧な光を実現・提供することができ

新製品

パルス幅の短縮等
さらなる性能向上を追求

多様なワーク素材のさまざまな加工条件に最適化させるため、レーザー波長の多様化や熱発生・酸化を避けるためのより短いパルス幅への対応等、マーケットニーズに合わせたさらなる技術開発にも余念がない。

既に、これまで蓄積してきたDPSレーザー技術を発展させ、5〜20nsというパルス幅のレーザー発振器を開発。ファイバーレーザー分野においても、4〜50psという超短パルスで、なおかつ実用性の高い波長への変換を実現した微細加工用レーザー発振器の事業化計画も進められている。

ビジョン

レーザー技術による
ソリューションプロバイダー

同社の目標は、レーザー発振器やそれを組み込んだ機器を提供する単なる「物売り」ではない。

レーザー技術のみならず、レーザーを走査するガルバノスキャナや光学的側面等、周辺技術分野にも精通し、必要に応じて他社の製品・技術も積極的に取り入れる。

それにより、顧客が抱える諸課題に対して、レーザー技術を核としたソリューションをワンストップで提供すること。これこそが同社の標榜する企業像である。

COMPANY PROFILE

スペクトロニクス株式会社

関西
23当社の
歴史

レーザー機器は高額という印象が一般的ですが、当社は平成16年の設立以来、最先端レーザー技術の開発に取り組みつつ、そんなイメージを変えたいと考えてきました。微細加工用レーザーを、町工場でも使えるような、もっと身近な存在に変えていくこと。それが、加工貿易によって経済発展してきた日本のものづくり力の復活につながると思います。

クライアントのニーズを重視した商品開発が
当社の強みです。

代表取締役社長 岡田 穰治さん



■主な事業内容

レーザー・光学応用
機器の開発・製造・
販売・受託開発 等

■主な取引先(納入先)

電子機器メーカー、
装置メーカー、大学等
研究機関 等

住 所 / 〒567-0816
茨木市永代町8-8
国里ビル5F
TEL / 072-624-0700
FAX / 072-624-1070
創 業 / 平成16年4月
設 立 / 平成16年4月
資本金 / 1,500万円
従業員 / 28名

<http://www.spectronix.co.jp/>